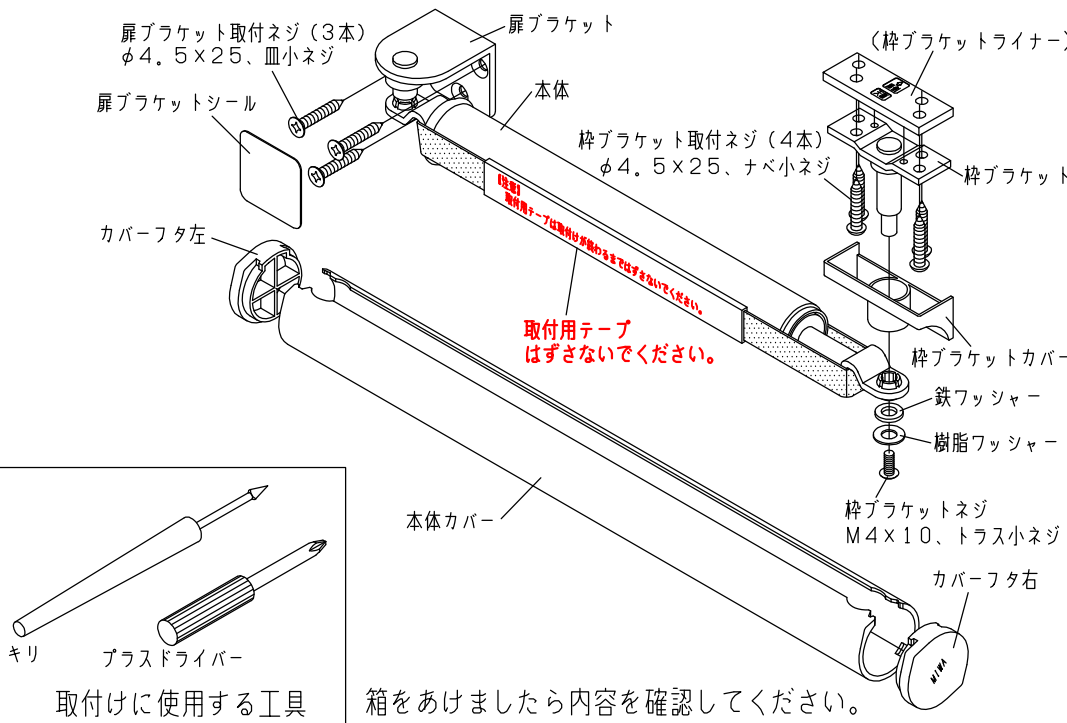
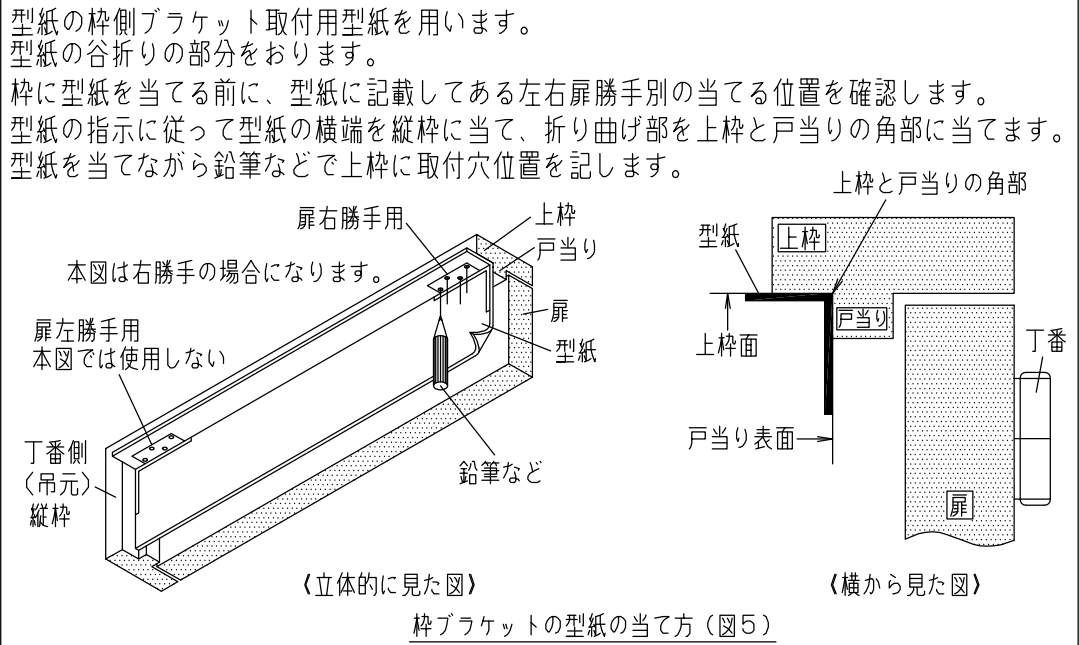


このたびは美和ドアスィスをお買いあげいただきまして、ありがとうございます。
この説明書をよくご覧になり、ドアスィスを正しく取り付けてくださるようお願いいたします。

1 セットの内容と組立図、及び、取付に使用する工具

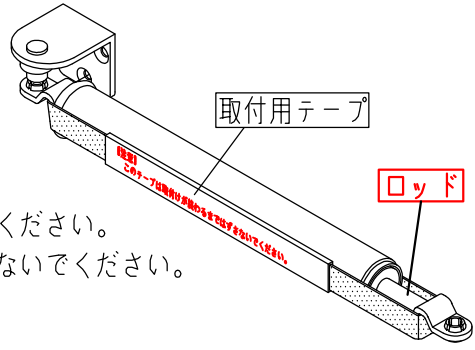


5 枠ブラケットの取付位置を決める (以下の図は右勝手を示します。)

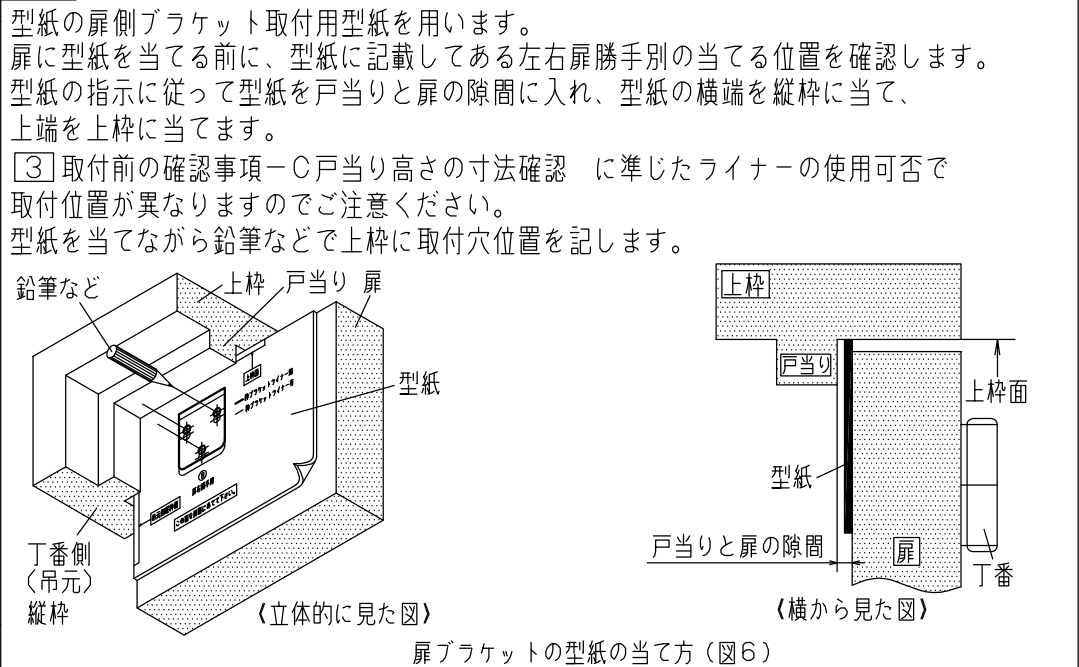


2 取付に関する注意事項【重要】

- 【取付用テープに関する注意事項】**
- 取付用テープは切らないでください。
 - 取付用テープは本取付説明書 10の作業ではずします。それまでははずさないでください。
 - もしはずしてしまった場合は 12 を参照願います。
- 【ロッドに関する注意事項】**
- ロッドに傷が付かないようにしてください。
 - ロッドを工具でつかむ、ナイフで傷付けるなどにご注意ください。
 - ロッドにセロハンテープ、ゴミなどの異物が付着しないようにしてください。
 - ロッドに異物が付着した時は速やかに取り除いてください。
 - ロッドに異物が付着している時にロッドを動かさないでください。



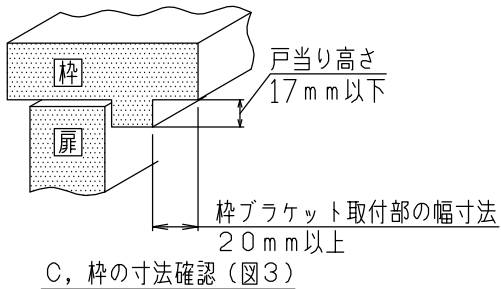
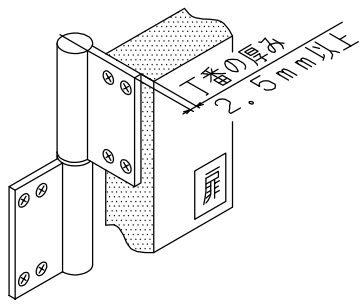
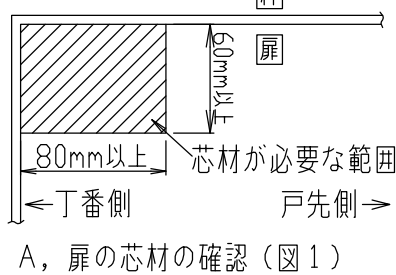
6 扉ブラケットの取付位置を決める



3 取付前の確認事項

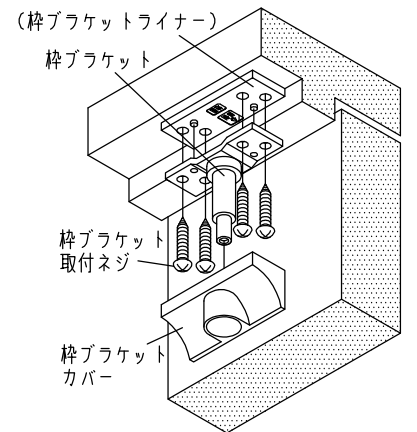
各寸法の規定を満たしていないと取付けることができませんのでご注意ください。

- A, 扉の芯材の確認
扉ブラケットを取付ける位置には芯材が必要です。その有無を確認してください。(図1)
- B, 丁番の厚み、出寸法の確認(図2)
a, 丁番の厚みを確認してください。
- C, 枠の寸法の確認(図3)
a, 枠ブラケット取付部の幅寸法を確認してください。
c, 戸当りの高さ寸法を確認してください。
戸当り高さが9~13mmの場合
→枠ブラケットライナーは使用しません。
戸当り高さが13.1~17mmの場合
→枠ブラケットライナーを使用します。



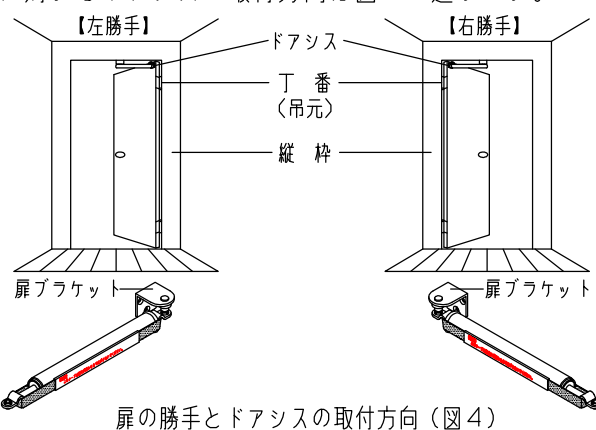
7 枠ブラケットの取付

- 5 枠ブラケットの取付位置を決める で決めた穴位置にくりなどで下穴をあけてください。(穴径φ3.5、深さ20mm程度)
枠ブラケットを上枠に指定のネジで取付けてください。
ライナーを使用する場合はライナーを上枠と枠ブラケットの間に入れてください。ライナーには天地と前後の方向があります。取付向きはライナーに記載されていますので確認していただき間違えないように取付けてください。
ネジは強く締付けてください。緩いと枠ブラケットがぐらつき正常な機能を果たさない原因となります。
枠ブラケットカバーを下から入れカチッと音がするまで差込んでください。



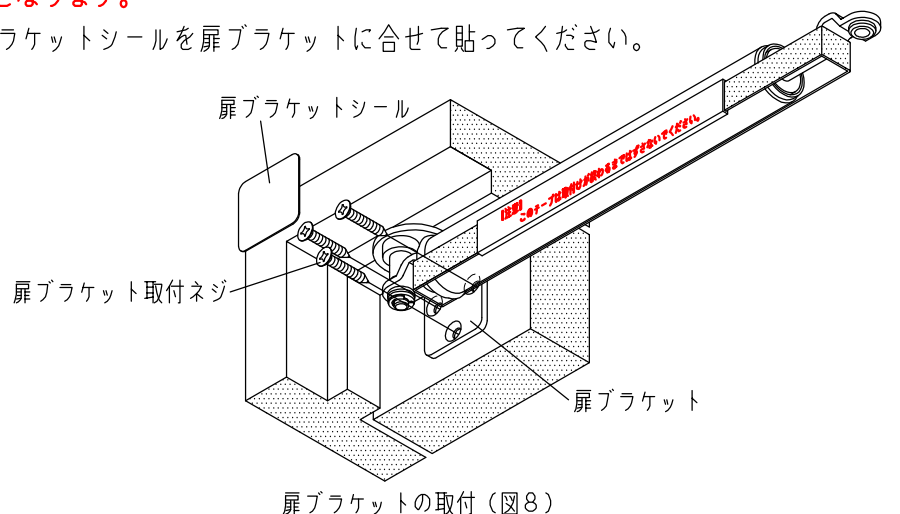
4 取付位置

ドアスィスは、扉を押してあける側の上部で丁番の近くに取付けます。扉には開き方向により左勝手・右勝手の2種類があります。各勝手に対するドアスィスの取付方向は図4の通りです。



8 扉ブラケットの取付

- 6 扉ブラケットの取付位置を決める で決めた穴位置にくりなどで下穴をあけてください。(穴径φ3.5、深さ20mm程度)
扉ブラケットを扉に指定のネジで取付けてください。
ネジは強く締付けてください。緩いと扉ブラケットがぐらつき、正常な機能を果たさない原因となります。
扉ブラケットシールを扉ブラケットに合せて貼ってください。



このたびは美和ドアシスをお買いあげいただきまして、ありがとうございます。
この説明書をよくご覧になり、ドアシスを正しく取り付けてくださるようお願いいたします。

9 ドアシス本体の連結

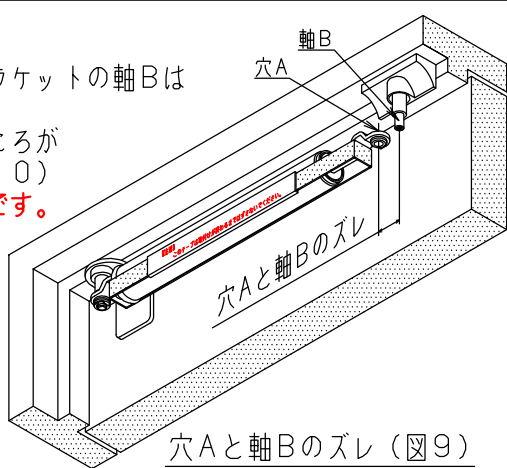
扉が閉じた状態ではドアシス本体の穴Aと扉ブラケットの軸Bはズレており連結することはできません。(図9)
扉をゆっくりあげていくと穴Aと軸Bが合うところがありますので、そこで連結してください。(図10)

**穴Aと軸Bが合う位置は扉を少しあげたところです。
扉を45度あけても合わない場合はもう一度扉を閉めて最初からおこなってください。**

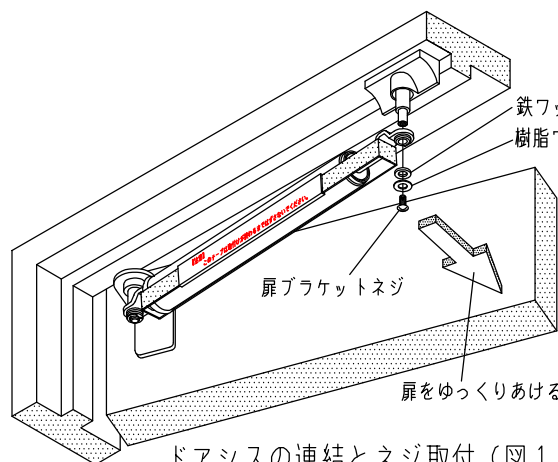
連結後、軸Bに鉄ワッシャー、樹脂ワッシャーの順番ではめ、指定のネジで取付けてください。(図10)

ネジの締付トルクは15kg・cm以上です。
鉄ワッシャー、樹脂ワッシャーの取付順番は間違わないようにしてください。

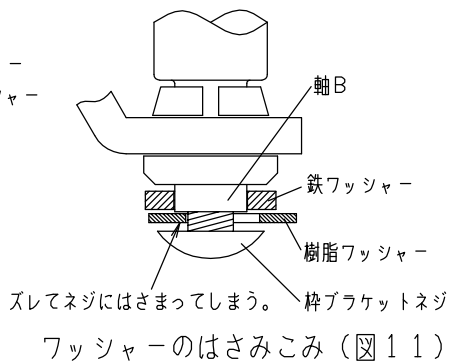
鉄ワッシャー、樹脂ワッシャーをビスではさみこまないように注意してください。(図11)



穴Aと軸Bのズレ (図9)



ドアシスの連結とネジ取付 (図10)



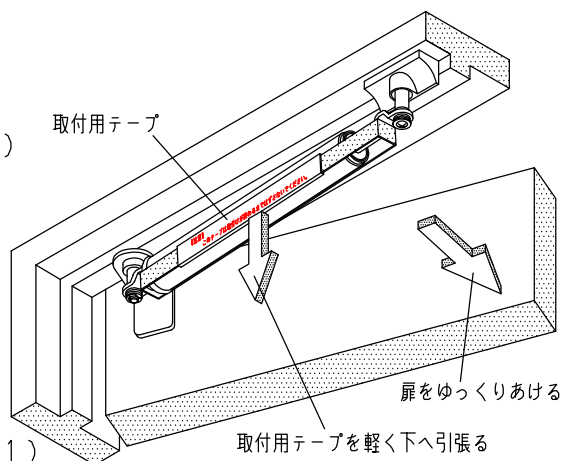
ワッシャーのはさみこみ (図11)

10 取付用テープの取外し

取付用テープを軽く下へ引張りながら扉をゆっくりひらいてください。
取付用テープが下にはずれます。(図11)

**取付用テープは切らないでください。
取付用テープはドアシスはずして再度、取付するときに必要です。
取付説明書と一緒に保管してください。**

取付用テープ取外し後、扉開閉をおこないスムーズに動くことを確認してください。

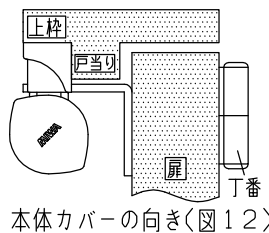


取付用テープの取外し (図11)

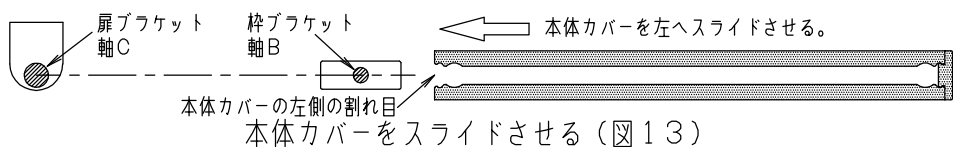
11 本体カバーの取付

【右勝手の場合】

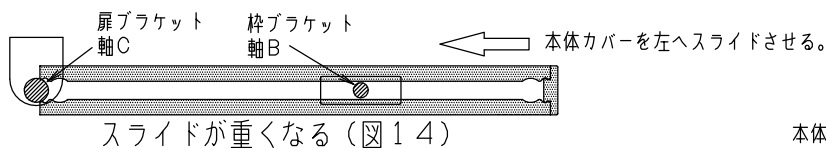
本体カバーの向きを確認します。扉の勝手にかかわらず本体カバーの向きは図12のようになります。
カバーフタ左をはずし、枠ブラケットの軸Bに本体カバーの左側の割れ目を合わせ左へスライドします。(図13)
本体カバーが扉ブラケットの軸Cにさしかかるとスライドが重くなりますが、そのまま左へ動かすとパッチンとクリック感があり、はまりこみます。(図14、15) カバーフタ左を本体カバーに組込みます。(図15、16) 本体カバー取付後、本体カバーを軽く左右にゆすり、しっかりはまっていることを確認してください。



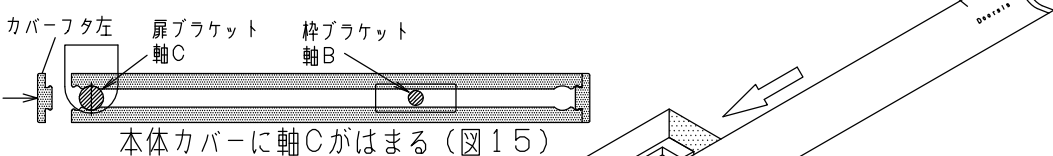
本体カバーの向き(図12)



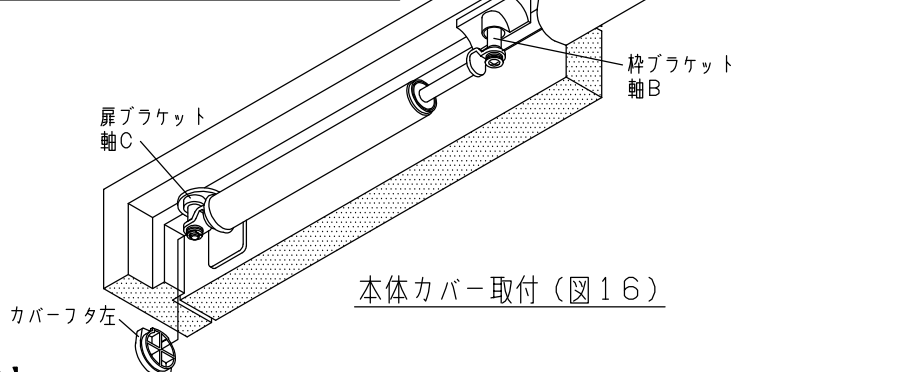
本体カバーをスライドさせる (図13)



スライドが重くなる (図14)



本体カバーに軸Cがはまる (図15)



本体カバー取付 (図16)

【左勝手の場合】

基本的な取付方法は右勝手と同じですが、次の部分が異なります。
・最初にはずすカバーフタはカバーフタ右になります。
・本体カバーは右へスライドさせます。

本体カバー取付後、扉開閉をおこないスムーズに動くことを確認してください。

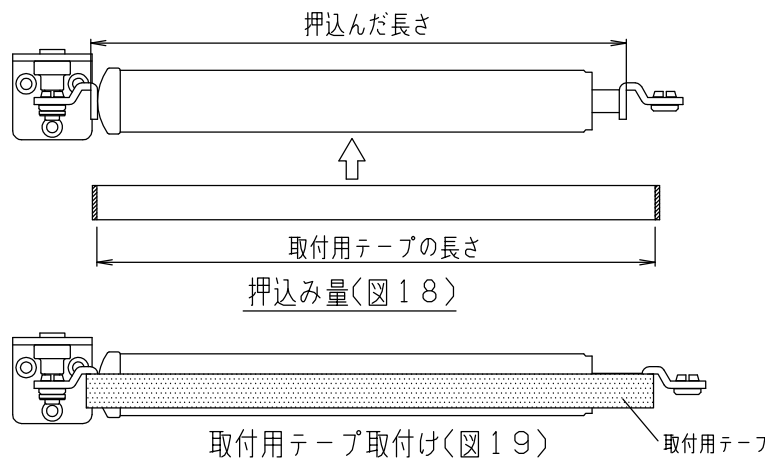
12 取付用テープの取付け方

次のような場合には取付用テープをドアシスに取付ける必要があります。
その時のために取付用テープの取付け方を記載いたします。

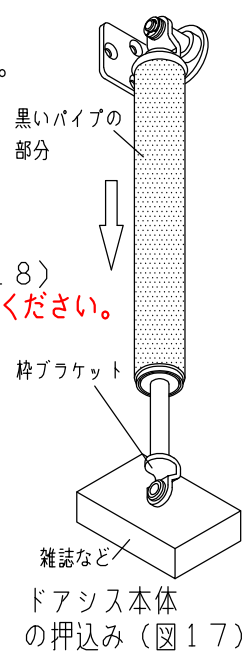
- ・取付前に取付用テープをはずしてしまった
- ・ドアシスはずして再度取付けを行なう

雑誌などを敷いて、枠ブラケットをあてます。
黒いパイプの部分を手でつかんで垂直に押し込みます。(図17)
取付テープがはまる長さより少し短いぐらいが丁度良い長さです。(図18)
一番短くなるころまで押し込んだ時にそれ以上、無理に力かけないでください。

押し込んだロッドは少しずつ伸びてきますので、すぐに取付用テープを扉ブラケットと枠ブラケットにはめます。はめた後もロッドが伸びますので取付用テープは張った状態になり固定されます。(図19)



取付用テープ取付け(図19)



ドアシス本体の押し込み (図17)